



盛岡市上下水道局職員インタビュー



所属	下水道整備課
職員名	工藤 技師
入庁年度	平成 30 年度
職種区分	土木技術職

※所属は令和 4 年 4 月 1 日時点です。

Q1：採用から現在までの所属は？

平成 30 年度～現在 上下水道局下水道整備課

Q2：現在の担当業務とやりがいは？

雨水を流す管路を設計する業務と工事監督業務を担当しています。設計業務では、現場条件を踏まえて、最適な施工方法を検討しながら設計を進めていくことが面白いと感じています。監督業務では、日に日に進んでいく現場を確認することにやりがいを感じます。また、自分で設計した工事を自分で監督するため、その際の達成感は筆舌に尽くしがたいものがあります。

Q3：職場の雰囲気は？



繁忙期はみんなでカバーし合いながら業務を進めており、困ったときは周りの人にすぐ相談できる環境です。経験豊富な先輩・上司方にサポートしていただきながら、経験を積める非常に良い環境だと考えています。

Q4：学生の時に力を入れていたことは？

中学校時代は野球・陸上・スキーを部活動で取り組んでいましたが、音楽系の部活をやりたい気持ちがずっとあり、高専進学時に思い切って吹奏楽に挑戦しました。最初は楽譜も読めず、楽器からはまともな音も出せず大変でしたが、毎日練習してなんとか人並みの実力になったことが思い出として強く残っています。

Q5：盛岡市を志望した理由は？

実家からある程度近く、遠距離の転勤がないことが一番の理由です。また、盛岡三大麺等のグルメ面でも興味があり、盛岡市で生活したいと感じたため志望しました。

Q6：入庁前と入庁後での、職場へのイメージの変化は？

下水道整備課という名前から、ある程度汚いイメージをもっていました。実際は工事の設計・監督がメインの業務で、想像していたイメージとは全く違う内容でした。工事以外にも、用地買収の業務など、様々な業務に携わることができ、多くの経験を積める職場だと感じています。

Q7：今までの仕事で印象に残っているエピソードは？

採用後1年目の4月1日から、異動された方の引継ぎで工事の監督員になったことが印象に残っています。工事の規模が大きく、そして機械設備に関連する工事で、全くの知識がない状態からスタートしました。その中で周りの方々にサポートしてもらい、なんとか無事工事を完成することができました。

Q8：とある1日のスケジュール

8：30	始業、設計資料作成
10：00	現場確認
12：00	昼休み
13：00	書類作成
14：00	他部署との打ち合わせ
15：00	書類作成
17：15	終業



Q9：モットー（仕事の上で大切にしていること）は？

「困ったときは誰かに相談する」

なにかと困ったときは相談・相談と耳にすることが多いと思います。私も就職前は、そんなの誰だってできるだろうと思っていましたが、いざ就職すると、慣れないことがたくさんあって頭の中が一杯一杯になってしまい、自分で抱えてしまうことがありました。人に頼りきりになることはもちろん良くありませんが、抱え込み過ぎるのも良くないので、そのバランスを見極めながら今後も効率的に業務に取り組みたいです。

Q10：盛岡市上下水道局で働くことの魅力は？



上下水道というのは、私たちが生きていくために欠かせないものです。業務の重要度は高く、やりがいがあります。また、下水道管は地中で最も深い管ですので、道路や水道管、ガス管などの知識もある程度求められますが、その分様々な知識を身に着けることができます。

Q11：未来の後輩に一言！

工事の設計や、監督業務と聞くと色々とハードルが高いように感じられますが、周りの経験豊富な先輩方がサポートしてくれますので、安心して業務に取り組めるとと思います。自分自身のスキルアップにも大いに結びつき、やりがいも感じられる魅力的な職場です。皆さんと一緒に良い街づくりができる未来を楽しみにしています！